



「巴泻ちゃんこ」(みそ味)



あたらしくある、なつかしくある。すみだの人のところが、すみだのものづくりのところが、新しい感性と出会い、未来へ向けた価値を生み出します。ちょっとなつかしく、そしてあたらしい。それが「すみだモダン」。

「すみだモダン」2011 グルメセレクションに認証されました!

東京都墨田区が推進する地域ブランドを代表する商品として 当店の「巴泻ちゃんこ」(みそ味)が認証されました。



発行 工藤みよ子
編集 ちゃんこ巴泻
東京都墨田区両国 2-17-6
TEL 03-3632-5600



「すみだモダン」ホームページ
<http://sumida-brand.jp>

ちゃんこ巴泻のある東京都墨田区は、江戸の粋や洒落、町の人情やふれあいがある。今も息づく江戸庶民文化発祥の地であり、葛飾北斎や勝海舟など歴史に名を残す人物にもゆかりのある地。また、大相撲をはじめ隅田川花火大会、墨堤の桜そしてスカイツリー開業(5月22日)など全国レベルで有名な行事や名所も多く、和菓子、ちゃんこ鍋などの食文化も豊かです。

一方で、伝統工芸から近代産業まで東京はもちろん日本全国、さらに世界で使われているさまざまな業種の中小企業が活躍する物づくりの街でもあります。

「すみだモダン」は、それらの中から『すみだ』の誇れる価値として認められた、商品・サービスなど、この地ならではの魅力が堪能できるものに与えられる認証ブランドとして2010年にスタートしました。第1回目は江戸切子など28件、第2回目となる2011年は23商品、14の飲食店メニューが認証されました。

今回認証された「巴泻ちゃんこ(みそ味)」は、毎日築地から届けられる新鮮な生の鰯だけを使った手作りのつみれを中心に寄せ鍋風に楽しめる、4種の味噌(京都赤味噌、仙台赤味噌、北海道赤味噌、信州甘口白味噌)をブレンドした特製スープのちゃんこ鍋です。九代目友綱部屋の伝統の味を背景に、料理人のこだわりが詰まった「店名」創業者の四股名を冠したお鍋です。ぜひ、墨田を代表する両国老舗の味をお楽しみください。

本場両国の味! 「ちゃんこ巴泻」の四大ちゃんこ

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>たちやま 太刀山ちゃんこ (醤油味)</p> <p>角界を代表する醤油味で、霜降りのお肉中心のスタミナちゃんこ。 2,940円(一人前)</p>  | <p>くみやま 国見山ちゃんこ (塩味)</p> <p>塩味のさっぱりしたコクのあるスープと絶品の鰯つみれ入りちゃんこ。 2,940円(一人前)</p>  | <p>やはすやま 矢筈山ちゃんこ (水炊き)</p> <p>旬のつみれと魚貝を用い、ポン酢で食べるさっぱり味の食欲増進ちゃんこ。 2,940円(一人前)</p>  | <p>ともえがた 巴泻ちゃんこ (みそ味)</p> <p>4種類の特製味噌をブレンドした2種類のつみれ入り寄せ鍋風ちゃんこ。 2,940円(一人前)</p>  |
|--|---|---|---|

<http://www.tomoegata.com>

ちゃんこ巴泻

ご予約 03-3632-5600
お問合せ FAX 03-3635-3056
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-17-6

全300席 本館130席 新館170席

営業時間
平日 11時半~14時 17時~22時
土日・祝日 11時半~14時 16時半~22時



来たれ、若者!
友綱部屋 新弟子募集中

明日の横綱を目指す若者を募集しています。
詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.tomozuna-beya.jp/recruit/>

検査合格基準
●身長 173cm
●体重 75kg以上
●年齢 20歳まで

通販商品のご案内

「九代目ちゃんこ鍋 (塩味) が新しくなりました!」

東京両国の老舗の味をご家庭でも楽しめます。両国のお土産や贈答としてもご利用ください。

2人前セット... 三二五〇円
4人前セット... 五二五〇円
※送料別

魁皇関引退 浅香山襲名披露 引退大相撲

大相撲の歴史に名を残した十一代友綱部屋の元大関・魁皇

昨年7月場所(名古屋)に惜しまれつつも相撲人生に幕を下ろされた魁皇関(元大関)。入門以来23年以上の長きにわたり、不屈の精神で大相撲を支え、私たちにたくさんの感動を与えてくれました。ライバルたちとの名勝負を繰り広げ、歴代通算最多勝利1047勝という前人未到の記録を打ち立てるなど、まさに相撲史に名を残す名力士です。そんな魁皇関とちゃんこ巴沔には深いつながりがあります。ちゃんこ巴沔の創業者・巴沔(元小結)は九代目友綱親方として歴史と伝統のある部屋を支え、そして、魁皇関は現在の友綱部屋を代表する力士となりました。

今回は、5月27日(日)に行われます「魁皇引退浅香山襲名披露大相撲」に先立ち、同じく昨年引退されました立行司・三十五代木村庄之助氏に、現役時代の魁皇の取組や思い出について伺いました。



三十五代木村庄之助
1946年10月29日生まれ
宮城県出身/立浪部屋所属
大相撲行司 1962年-2011年

三十五代木村庄之助氏が語る

同期生の中でも一番の素質だった

魁皇の同期生は、貴乃花、若乃花、そして曙と、後に3人の横綱が誕生するほどの豊作でした。彼らは早くに大関、横綱と昇格しましたから活躍はご存じだと思います。でも、関係者の間では入門時から素質は魁皇が一番だと言っている人も多かったですよ。体格も良かったし、何と言っても怪力の持ち主でしたからね。入門した頃には既にリングを握りつぶせるほどであったとか、握力は100キロを超えて計測器を振り切ったとか、数々の怪力伝説を耳にしたもんです。



中央)女将 工藤みよ子 右)三十五代木村庄之助さん

大関昇進も時間がかかりましたからね。私は長年土俵で力士たちの激しいぶつかり合いを見てきましたから優勝することがいかに大変か、わかります。心技体が充実してないと絶対に出来ませんよ。魁皇は幕内で5回も優勝していますからやっぱり凄いなと思います。怪我さえなければ、間違いなく横綱になっていたと思いますね。

横綱「白鵬」を倒した一番

魁皇の決め技は、豪快な右からの上手投げ、強烈な腕力でねじ伏せる小手投げが代名詞です。その強さを物語る話のひとつに、名横綱・貴乃花が「右上手を取られた時の強さは私が対戦した力士の中で一番強かった」と言うぐらいです。ね、小手投げに関しては、数々の力士の腕を怪我させたことから四股名をもじって「破壊王(魁皇)」と恐れられていましたよ。

魁皇 博之
1972年7月24日生まれ
福岡県出身/友綱部屋所属
幕内最高優勝5回
通算最多勝利1047勝達成
幕内在位107場所(1位)
幕内勝利879勝(1位)
幕内出場1444回(1位)



魁皇引退浅香山襲名披露大相撲
5月27日(日)・両国国技館

日本人力士としての誇り

現在は横綱白鵬を中心に外国人力士が台頭しています。魁皇は日本人力士の砦として最後まで体を張り、本当に長く大関を務めた名力士です。立派でしたよ。大相撲において15年以上もトップレベルの実力を維持し続けていくことがどれほど困難なことか。何度でもピンチに見舞われながらも、力士としての自分を全うしようと現役への執念を燃やして土俵に上がり続けたからこそ、多くのファンの心を掴んだと思います。魁皇は全国的に人気の高い力士でしたけど、特に地元九州場所での声援は他の力士を圧倒していましたね。あと、私も驚きましたが、モンゴル巡業では当時の両横綱朝青龍や白鵬のモンゴル出身力士以上の大人気ぶりでした。

私も行司として50年近く務めてきました。魁皇と同じ年に引退したのも何か縁を感じます。5月に引退相撲があります。5月に引退相撲が引退しますが、名大関・魁皇の最後の雄姿を見届け、心からお疲れさまと言いたいですね。

ちゃんこ巴沔おススメ「スカイツリー」を巡る 両国ぶらり散歩

ここ両国には、歴史・芸術・食・と昔懐かしい日本があります。新名所のスカイツリーと一緒に、江戸の文化が漂う、下町両国を散策してみませんか？懐かしくも、どこか新しい出会いがあります。

都バス(約15分)
業平橋発 両国駅前 → 両国駅終点下車
押上発 上野松坂屋前行 → 両国駅途中下車
東京駅丸の内北口行 (土休日のみ)

都営大江戸線 両国駅

巡回バス(約15分)
押上発 → 都営両国駅途中下車

江戸東京博物館
江戸から東京までの文化や歴史についての資料を展示する博物館
特別展示 ザ・タワー ~都市と塔のものがたり~
2/21(火)~5/6(日)

回向院
大相撲の聖地
大相撲と深い関わりがある回向院。1768年(明和5年)に境内で初めて勳進相撲が行われ、これが今日の大相撲の起源となりました。

鼠小僧次郎吉の墓
時代劇で義賊として活躍するねずみ小僧。墓石のかげらを持っているとご利益があると言われていました。

吉良邸跡
元禄15年(1702年)12月14日に赤穂浪士四十七士が討入りの吉良上野介義典邸。

忠臣蔵討入りの舞台

両国橋

水辺ライン 水上バス発着所

陸奥部屋
春日野部屋
井筒部屋
出羽海部屋
大島部屋
木瀬部屋
二所ノ関部屋
足袋資料館

勝海舟 生誕地

芥川龍之介 文学碑

時津風部屋
相撲写真資料館
吉良邸跡

力塚
鼠小僧次郎吉の墓

回向院
資料館
両国花火

国技館
国技館通り
国技館

新館
本館

西口
東口

北斎通り
野見宿神社
生誕の地
江川太郎左衛門 終焉の地

清澄通り
錦戸部屋
八角部屋

スカイツリー
スカイツリー
スカイツリー
スカイツリー

東京・墨田の新名所「スカイツリー」5月22日(火)開業!

三十五代木村庄之助氏の「掛軸」決断一瞬
土俵上での真剣勝負を一言で表現されたものです。
【新館4階個室】

魁皇直筆の「サインと手形」
通算最多勝利1047勝の達成記念に載せました。
【新館1階フロント】